

WCRLラリーオビディエンス エクササイズ内容

Level 3 ボーナスイクササイズ

これらのエクササイズは、レベル3及びベテランクラスで使用される

【止まって終わるエクササイズ】

止まって終わるエクササイズ（Stationary Exercises）は、静止した姿勢で終わるエクササイズである。エクササイズ内には動きのある要素も含まれる。



400. 正面でオスワリー右もしくは左から右側について座る

ハンドラーは（後退せずに）停止し、同時に犬を正面に座らせる。
犬は正面に来て座る。
ハンドラーは犬を右側のヒールポジションにつかせる（左右どちらからでも）。
犬は、ハンドラーの右側に向かい、右側のヒールポジションでハンドラーと平行に進行方向を向いて座る。
ハンドラーと犬は、次のサインまで右側のヒールポジションでそろって前進する。

主要要素：右側のヒールポジションにつく

注釈：

- ・犬がポジションに向かっている間、ハンドラーは足を動かしてはならない
- ・犬は、ハンドラーの右側で直接か、ハンドラーの後ろを回ってのどちらかで右側のヒールポジションに向かう
- ・このエクササイズには、コースの最後のエクササイズでない限り、犬が左側のヒールポジションでのエクササイズに戻ることのできる「犬を待たせて離れる」もしくは「正面に座る」で始まるサインが続く



402. 停止—レトリブ—正面に座る—ヒールポジションに戻る

持ってこさせる物品にまっすぐ対面して、ハンドラーと犬はそろって停止し、犬を座らせる。
犬はヒールポジションに座る。
ハンドラーは、物品を持って来るよう犬を送り出す。
犬は、物品に向かい、くわえて、落とすことなくハンドラーのところまで戻る。
犬は物品を落とすことなく、ハンドラーの正面に座る。
ハンドラーは、犬から物品を受け取りながら犬に物品を離させる。
ハンドラーは犬に、左右どちらかからヒールポジションに戻るよう指示する（どちらかはハンドラーの選択）。
犬はハンドラーの指示通りヒールポジションに戻り、座る。

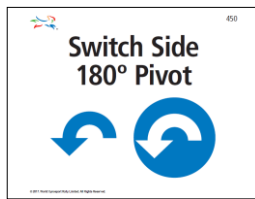
主要要素：ハンドラーの正面に物品を持って来る

注釈：

- ・コースを始める前に、ジャッジもしくはスチュワートは、ハンドラーからレトリブ物品を預かりコース内に設置する。レトリブ物品は、レトリブエクササイズを行う犬の場所からまっすぐ約4.5m先に置かれる
- ・レトリブ物品の設置は、コース中ヒーリングで進むライン上からは外し、物品に向かって行く際にわかりやすいよう次のサインのところに置かれる。あるいは、マットを広げた上に、さらに/もしくはコーンを置いて示す、などして、ヒーリング中のハンドラーからより視覚的にわかりやすく設置されている
- ・このエクササイズが完了したら、ハンドラーは、レトリブ物品をジャッジに渡すか、エクササイズサインのところに置いて行くといよい。レトリブ物品をルアーとして使ってはならない

【止まらずに次に進むエクササイズ】

止まらずに次に進むエクササイズ（Moving Exercises）は、動きのある要素で終わるエクササイズである。エクササイズ内に1つ以上の静止する要素が含まれることもあるが、静止の姿勢では終わらない。



450. 180° 軸回転に伴うサイドスイッチ

ヒーリングで反対方向に進むよう、ハンドラーは軸回転し、犬をその場で180° 方向転換させる。

軸回転中、犬はハンドラーと並行して回転する。

ハンドラーと犬は、犬がハンドラーの右側になり、そろって前進を続ける。

主要要素：犬がハンドラーの軸回転に並行して、その場で方向転換してサイドスイッチ（犬がハンドラーにつくポジションが左右入れ替わること）する

注釈：

- ・ハンドラーの軸回転と犬の方向転換は、左回りでも右回りでもよい
- ・このエクササイズには、コースの最後のエクササイズでない限り、犬が左側のヒールポジションでのエクササイズに戻ることで「犬を待たせて離れる」もしくは「正面に座る」で始まるサインが続く



452. 180° 回れ右に伴うサイドスイッチ

反対方向に進むよう、ハンドラーと犬は並行して、半径約30cm～60cmで180° 右に方向転換する。

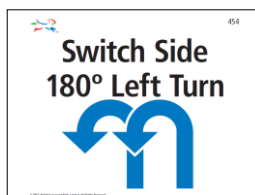
犬はハンドラーと同じ方向に回転し、ハンドラーの右側でのヒーリングとなる。

ハンドラーと犬は、犬がハンドラーの右側になり、そろって前進を続ける。

主要要素：ハンドラーの回れ右に伴い犬のポジションが左右入れ替わる

注釈：

- ・ハンドラーは、軸回転でなく右回り（時計回り）とならなければならない
- ・ハンドラーの左側から右側にポジションが入れ替わる際、犬は方向転換中のハンドラーの背面で回転する
- ・このエクササイズには、コースの最後のエクササイズでない限り、犬が左側のヒールポジションでのエクササイズに戻ることで「犬を待たせて離れる」もしくは「正面に座る」で始まるサインが続く



454. 180° 回れ左に伴うサイドスイッチ

反対方向に進むよう、ハンドラーと犬は並行して、半径約30cm～60cmで180° 左に方向転換する。

犬はハンドラーと同じ方向に回転し、ハンドラーの右側でのヒーリングとなる。

ハンドラーと犬は、犬がハンドラーの右側になり、そろって前進を続ける。

主要要素：ハンドラーの回れ左に伴い犬のポジションが左右入れ替わる

注釈：

- ・ハンドラーは、軸回転でなく左回り（反時計回り）とならなければならない
- ・ハンドラーの左側から右側にポジションが入れ替わる際、犬は方向転換中のハンドラーの前で回転する
- ・このエクササイズには、コースの最後のエクササイズでない限り、犬が左側のヒールポジションでのエクササイズに戻ることで「犬を待たせて離れる」もしくは「正面に座る」で始まるサインが続く



456 A/B. 停止—犬から離れる／右折—ヒールポジションに呼ぶ

A.
 ハンドラーと犬はそろって停止し、犬を座らせる。
 犬はヒールポジションに座る。
 ハンドラーは犬を待たせ、2枚目のサインまで進む。
 犬は、ハンドラーによってヒールポジションに呼ばれるまでその場で座って待つ。

B.
 止まることなく、ハンドラーは90° 右折し1～2歩進んだ後、次のサインに向かって歩き続けながら犬をヒールポジションに呼ぶ。
 犬は、すぐにハンドラーの左側のヒールポジションに向かって動き出す。
 犬がヒールポジションに到達すると同時に、チームはヒーリングで前進を続ける。
 次のサインの手前約1.8mになっても犬がヒールポジションに到達できなかった場合には、ハンドラーは停止してもよい。

主要要素：
 A.その場で待つ
 B.ヒールポジションに来る

注釈：
 ・2枚目のサインは、1枚目のサインから前方約2.4m～3mに同じ向きに置かれる
 ・ハンドラーは、ヒールポジションに呼ぶ際に犬の方を向いてもよい



458 A/B. 停止—犬から離れる／左折—ヒールポジションに呼ぶ

A.
 ハンドラーと犬はそろって停止し、犬を座らせる。
 犬はヒールポジションに座る。
 ハンドラーは犬を待たせ、2枚目のサインまで進む。
 犬は、ハンドラーによってヒールポジションに呼ばれるまでその場で座って待つ。

B.
 止まることなく、ハンドラーは90° 左折し1～2歩進んだ後、次のサインに向かって歩き続けながら犬をヒールポジションに呼ぶ。
 犬は、すぐにハンドラーの左側のヒールポジションに向かって動き出す。
 犬がヒールポジションに到達すると同時に、チームはヒーリングで前進を続ける。
 次のサインの手前約1.8mになっても犬がヒールポジションに到達できなかった場合には、ハンドラーは停止してもよい。

主要要素：
 A.その場で待つ
 B.ヒールポジションに来る

注釈：
 ・2枚目のサインは、1枚目のサインから前方約2.4m～3mに同じ向きに置かれる
 ・ハンドラーは、ヒールポジションに呼ぶ際に犬の方を向いてもよい



460. 前進中のフセ—2～4歩前進—前進中のタツテ

ヒールポジションのまま—時的に止まって犬を伏せさせることで、「前進中のフセ」を行う。
 →犬は、座って静止することなく伏せる
 →犬が伏せたら、ハンドラーは犬にヒーリングを指示する
 →犬が伏せている状態から直接動き出すように、2～4歩前進する
 ヒールポジションのまま—時的に止まって犬を立たせることで、「前進中のタツテ」を行う。
 →犬は、座ってもしくは伏せて静止することなく、ヒールポジションで自発的に立ち姿勢を取る
 ハンドラーと犬は、そろって前進する。

主要要素：座ってもしくは伏せて静止することなくヒーリング中に伏せる、立つ

注釈：
 ・ハンドラーは、伏せさせた後また立たせた後はすぐに前進する
 ・ハンドラーは、このエクササイズ中に犬に触れてはならない